

今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2016年9月30日]

9月の農業情報

タイトル 田原養豚農家がバイオガス発電を事業化

とき 平成28年8月10日(水)

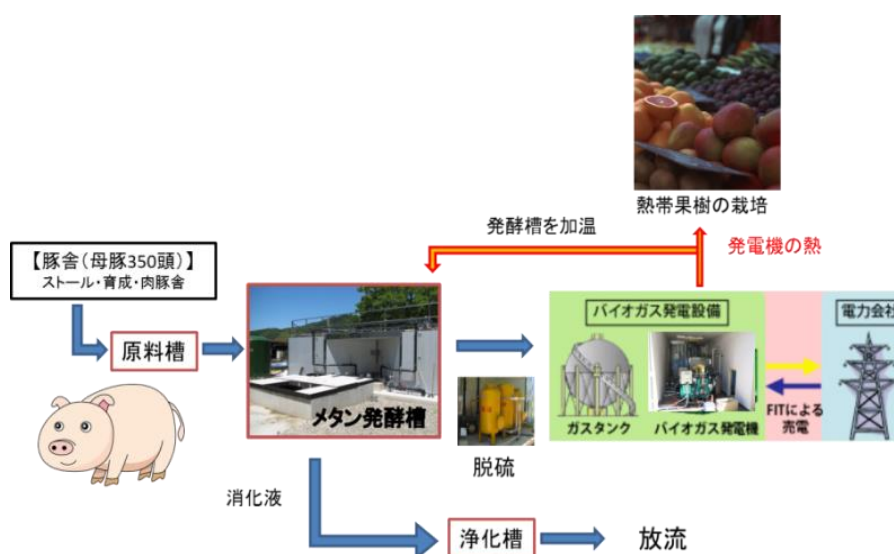
ところ 田原市

主体・対象 管内養豚農家

内容

田原市の養豚農家「群類畜産(鈴木美仁氏)」が進めている豚糞尿を利用したバイオガス発電システムが「愛知県循環型社会形成推進事業(県環境部)」に採択された。豚糞からメタンガスを発生させて発電を行い、発生した電気は売電する。バイオガス発電を行うことで、循環型社会の推進に寄与するとともに、環境にやさしい豚肉として付加価値が高まることを期待している。また、発電機から発生する熱を利用して、アテモヤなどの熱帯果樹のハウス生産も計画している。

農業改良普及課では、バイオガス発電システム及びハウス建設のための資金利用計画作成や、熱帯果樹の栽培方法の習得を支援していく。管内では、畜産農家2戸がバイオガス発電を検討、計画している。



バイオガス発電システム イメージ図